NIE実践報告

１．タイトル：自己表現力を身につける活動

２．学校名

帯広市立西陵中学校

３．実践者名（代表者名）

乙戸貴宏

４．学年

３学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

道徳　３４名

６．単元（本時の学習課題）名

生命の尊重

７．目標（狙い）

「生命」は「かけがえのないもの」であることを理解し、生命の尊厳について考えることができたか。

８．評価の視点

ディスカッションを通じて「生命」は「かけがえのないもの」と感じることができたか。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

『臓器提供「誇りに思える」』（生命の尊重３－１）　１時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

１．教材文『臓器提供「誇りに思える」』（平成２２年９月１２日読売新聞道総合版）を読む。
２．グループディスカッションを行い、「聞く・話す・考える」活動をする。
３．なぜ「生命」を大切にする必要があるかを考え、意見文を書く。

（留意点）
・自分と意見の違う相手がいても決して否定したりすることのないようにする。
・ただの感想になることがないように、これからしっかり生きていこうとする心情につなげる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

ただ単に生きていくのではなく、生きていることの素晴らしさを改めて感じ取ることができた。生命はかけがえのないものであり、自分だけでなく相手の生命も大事なものであると気づくことができた。

12．成果と課題

新聞記事を活用したことで、ダイレクトな話題を提供することができた。授業にとどまらず普段の生活でも、生命の大事さを感じとれる場面がみられるようになってきた。